



2学期がスタートし、また学校に子どもたちの笑顔が戻ってきました。2学期は行事も多く、子どもたちが様々な教育活動を通して楽しく活動し、みんなで協力しながらたくましく成長してくれることを期待しています。

ただ、心配なことに新型コロナウイルス感染症の拡大傾向が続いています。生駒市独自の「感染拡大緊急警報」が9月12日まで延長されたことを受け、市内小中学校は、今月31日までは午前中の短縮授業となり、9月1日から12日までは、給食なしで下校し、午後の授業をオンラインで実施します。これは、子どもたちの新型コロナウイルス感染防止とともに学びの保障を行うための対応です。この期間中、本校は全学年とも12時下校となりますが、学童保育に通所する児童等については、学校でのオンライン授業への参加になります。こうした対応に伴って、先日、学校や学年からお知らせしましたように、9月に予定しておりました主な行事については、延期または内容の変更の措置をとらせていただくことになりました。ご理解とご協力をお願いいたします。

とにかく、一刻も早い感染拡大の収束を願っています。手洗い、マスク着用、密を避ける等の感染予防を行うとともに、まだしばらくは熱中症にも気をつけなければなりません。子どもたちの健康、安全を第一にしながら、今できることを工夫して精一杯やっていきたいと思えます。

なお、少しでも体調不良がある時は、登校を控えてください。また、今後も同居家族のどなたかがPCR検査を受けられることになった場合、できるだけ速やかに学校へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

【まなびいや～今年の夏を遊書で形にしよう～】

8月の放課後子ども教室「まなびいや」では、3日・4日・5日に講師の先生をお招きして「遊書」の手ほどきを受けました。「遊書」は筆を使って書きますが、ふつうの習字とちがって、読んで字のごとく遊び心で思いのまま書いていくのが特徴です。



筆の持ち方も色々です。手の平ではさんでくるくる回しながらであったり、柄についているひもを持って筆を吊り下げようしたりして、子どもたちは自分の名前や1文字を漢字や平仮名で書いてきました。もごもごとかすれた線や、糸を引くような細かい線などで文字をくずして書くことによって独特の味わいが出ます。そして、じゃばらの台紙に好きな物やしてみたいこと、夏の楽しみなど、思い思いに絵を描いたり、文字を書き添えたりしていきました。仕上がったオリジナルの素敵な作品を見て、子どもたちは、にっこり微笑んでいました。

登下校の見守りありがとうございます。

見守りボランティアの皆様には、日頃より子どもたちの登下校時の見守り活動にご尽力賜り、大変感謝申し上げます。8月16日には、あすか野自治会館にて令和3年度見守りボランティア意見交換会が開催され、ボランティアの皆様よりお話を伺う機会を持たせていただき、ありがとうございました。

子どもたちの登下校の様子で気になることとして、横断歩道のないところを横断しようとしたり、信号の変わり目に飛び出したり、坂道を走ったりする行為等が挙げられていました。前を歩いている子を走って追い抜こうと車道にはみ出す場面も見られるようです。車との接触の危険性のほか、走ることで転倒の危険も高くなり、実際に転倒してボランティアの方に応急処置をしていただくこともあるようです。安全な登下校の仕方について見直していく必要があります。

また、「1学期の終わりに『1学期の間、ありがとうございました。』とお礼を言ってくれた子がいて、とてもうれしく思いました。」という話も聞かせていただきました。いつもお世話になっている地域の方に子どもたちの方から感謝の気持ちを伝え、そのことをボランティアの方が喜んでくださっていることに学校としてもうれしく思います。

今後も安全に気を付けて登下校することと合わせて、子どもたちからボランティアの方へのあいさつも大切にしたいと思います。子どもたちといつも見守ってくださっているボランティアの皆様とあいさつを交わすことでお互いに笑顔になれる、そんな登下校の様子が見られることを願っています。

東京オリンピック、パラリンピック

今年の夏休みは、始まってすぐに東京オリンピックが開催されました。史上最年少メダリストや兄妹同日メダル獲得など話題が豊富でしたが、どの種目を見ても、最後まであきらめず、全力で競技するアスリートの姿は感動的でした。メダルをとった選手もとれなかった選手も色々な国の選手が、競技後にお互いの健闘をたたえ合ったり、インタビューで、これまで自分を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを述べたりしていたのも印象に残りました。

8月24日からは、パラリンピックが開催されています。障がいを持って限界に挑戦し、ベストを尽くすパラアスリートの活躍を応援しながら、また、子どもたちが色々なことを感じ、気づいてくれることを期待したいと思います。